

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	建築製図	
科目基礎情報							
科目番号	1892401		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	建設コース		対象学年	2			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	ヤマベの木構造 増補改訂版 (エクスナレッジムック)						
担当教員	多田 豊						
到達目標							
1. 立体的な表現の方法を理解し、描くことができる。 2. 木造住宅の図面の意味を理解できる。 3. 木造住宅の図面の描き方を理解し、模写することができる。 4. 名作住宅の図面から、設計意図を理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベル(可)		
到達目標1	投影図・透視図の意味と描き方を理解しており、さまざまな図形を描くことができる。		投影図・透視図の意味と描き方を理解しており、図形を描くことができる。		投影図・透視図の意味と描き方を理解している。		
到達目標2	木造住宅の図面の種類と意味を理解し、立体が想像でき、図面を描くことができる。		木造住宅の図面の種類と意味を理解し、立体が想像できる。		木造住宅の図面の種類と意味を理解できる。		
到達目標3	木造住宅の平面図の意味と描き方を理解しており、図面を描くことができる。		木造住宅の平面図の意味と描き方を理解し、模写できる。		木造住宅の平面図の意味と描き方を理解できる。		
到達目標4	名作住宅の図面から、立体的な空間と設計意図を理解できる。		名作住宅の図面から、設計意図を理解できる。		名作住宅の図面を理解できる。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築設計製図の授業の導入として、基礎的事項の説明を行い、作図の練習・木造住宅設計図のトレースを通して、建築物の表現方法を学び、設計製図の基礎を培う。また、名作住宅の図面を通して、設計者が考えた設計意図を理解し、設計行為の魅力を育む機会にする。						
授業の進め方・方法	本授業は演習形式で実施する。そのため各授業において定規等の指定された物品を必ず持参すること。 【授業時間30時間】						
注意点	本科目は建築士試験の受験資格要件として定めた指定科目であり、修得することにより実務経験年数などの受験資格が有利となる。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	建築設計製図の基本	立体的な表現の方法を理解し、投影図・透視図が描ける。			
		2週	建築設計製図の基本	立体的な表現の方法を理解し、投影図・透視図が描ける。			
		3週	建築設計製図の基本	立体的な表現の方法を理解し、投影図・透視図が描ける。			
		4週	建築設計製図の基本	立体的な表現の方法を理解し、投影図・透視図が描ける。			
		5週	木造住宅設計図の基本	木造住宅の図面の種類と意味を理解できる。			
		6週	木造住宅平面図のトレース	木造住宅の平面図の描き方を理解し、模写できる。			
		7週	木造住宅平面図のトレース	木造住宅の平面図の描き方を理解し、模写できる。			
		8週	木造住宅平面図のトレース	木造住宅の平面図の描き方を理解し、模写できる。			
	4thQ	9週	木造住宅平面図のトレース	木造住宅の平面図の描き方を理解し、模写できる。			
		10週	設計意図の理解	名作住宅に関する資料、図面模写などから、設計意図を理解できる。			
		11週	設計意図の理解	名作住宅に関する資料、図面模写などから、設計意図を理解できる。			
		12週	設計意図の理解	名作住宅に関する資料、図面模写などから、設計意図を理解できる。			
		13週	設計意図の理解	名作住宅に関する資料、図面模写などから、設計意図を理解できる。			
		14週	設計意図の理解	名作住宅に関する資料、図面模写などから、設計意図を理解できる。			
		15週	設計意図の理解	名作住宅に関する資料、図面模写などから、設計意図を理解できる。			
		16週	設計意図の理解	名作住宅に関する資料、図面模写などから、設計意図を理解できる。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	30	0	70	0	0	100
基礎的能力	20	0	40	0	0	60
専門的能力	10	0	30	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0